

改善計画書

施設名 四日市市立ときわ保育園 (担当者 澤村 由紀子・水谷 紗耶香)

(作成年月日 令和6年2月14日作成)

(施設として特に優れている点)	1	・子ども・保護者・職員が安心して生活できる環境づくりに努める。						
	2	・笑顔で挨拶をしたり、積極的に声をかけるなど保護者や子どもたちとのコミュニケーションを大切にする。また、園での子どもたちの生活を保護者に丁寧に知らせ、家庭と共に子どもの育ちを保障していく。						
	3	・子どもたちにとっての遊びの体験が学びの体験であり、より多くの遊びの体験を提供する。 ・職員は『プロジェクト保育』や公開保育等を行ったり、幼児教育センターを活用しキャリアに応じた研修へ積極的に参加したりしながらスキルアップを図るよう努めている。						
	4	・園長は、福祉サービスの質を向上させるために、職員の就業状況や有給の取得状況を把握し、働きやすい環境を整えるようにしている。また、年2回の個別面談を行い、適切な指導ができるよう努めている。						
	5	・地域の方々とのつながりを大切にし、地域と交流するなかで、一層の相互協力関係を構築していく。						
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
すぐ実現したいこと	1	中・長期的な計画の明確化	園長・主任が中心となり、園のビジョンに具体的な保育方針を明確化する。	3か月	R6.3~	R6.5	全体的な計画・園のビジョンを見直し、具体的な保育方針を示すよう確認していく。	園長・主任
	2	実習生・ボランティア受け入れマニュアルの作成	受け入れ姿勢を基本とするマニュアルの整備を行う。	1年	R6.3~	R7.3	園として受け入れ姿勢を確認するとともに、具体的なマニュアルを作成する。今後、市の施設として統一されたものを作成するかを確認して進める。	園長・主任
	3	利用者満足度の向上	保護者とのコミュニケーションを大切に、積極的に関わる。保護者一人ひとりの思いに共感し丁寧な対応を行う。	1年	R6.3~	R7.3	保護者への対応は園全体で意識して行い、共有していく。具体的なかわり方を話し合いながら保護者理解につなげる。	園長・主任
	4	防犯対策・保護者への啓発、周知	毎月、不審者対応訓練を行い、子どもたちと共に危険予測や回避の積み重ねを行う。保護者への周知を行う。	1年	R6.3~	R7.3	マニュアルの確認・評価・反省を行い様々な想定訓練を実施する。たより等で訓練の様子等を保護者に周知する。	園長・主任・ 防犯訓練担当者
	5							
工夫すればできること	1	事業計画・保育内容の職員への周知	事業計画・保育内容の職員への周知。共通理解に向け職員一人ひとりの意識を高める。	1年	R6.3~	R7.3	周知内容を精査しながら、各クラス担任が主となり、パート職員への伝達を確実に行う。必要に応じて記録の閲覧を行う。	園長・主任・クラス担任・ 調理員など
	2							
	3							
	4							
	5							
予算化しなくてはならないこと	1	防犯対策・施設の老朽化による改善	修繕や環境整備により、健康で安全な生活ができるようにする。	5年	R6.3~	R11.3	危機管理上、子どもの安全・衛生の視点で検討し、主管課に相談・関連機関に申請を行う。	園長
	2							
	3							
	4							
	5							